

今週の主な News

1. 全まち 2023 オープニングセッションを要約すると
2. 津和野会議 2023 まち歩きのカンファレンス開催案内
3. 外国人と共に暮らし支え合う地域社会の形成事業報告会
4. 第 10 回女性とまちづくり研究会開催案内
5. 2023 年度第 3 回 J's カフェの開催案内

■全まち 2023 オープニングセッションを要約すると

全国まちづくり会議 2023 のオープニングセッション「まちづくりの哲学」での蓑原さん&宮台さん+野口さんの対話の一端を紹介します。2時間余にわたるセッションの全容は別途 JSURP の HP にアップされており、そちらを参照してください。

https://jsurp.jp/zenmachi_opening_session

なお、以下の文章は上記セッション録として整理される前の素原稿(セッションの進行に沿った三人の発言)における主要なコメントから要約したものです。

宮台:「まちづくり」は僕たちを幸せにするはずだったが全く程遠いものになっている。都市計画学で考えてもどうにもならない。これは我々の社会と人の劣化に関係している。体験の貧しさ・人間関係の貧しさが都市の貧しさに起因している。

蓑原: 第1のテーマ、リアルなまちを考えると一つは客観的な対象としての都市という物理的なもののリアル、もう一つはそれを眺めている人間の心のリアルをどう考えるか。2番目の都市計画というのは一体何だと考えると、都市というのは人間の生活全体をカバーしている領域だから、その領域をどう考えるかというふうに考えると、俯瞰的に物事を見て、いろいろな専門職をつないで、それと一緒に物を作っていくというシステム自体が実は都市計画である。民間が何かをやるのは素晴らしいことだという話ではなくて、民間も役所も市民も一体となって物事ができていくプロセス全体の問題として議論しなきゃいけない。残念ながら日本の都市計画の中にはそういう俯瞰性はない。誰もそういうセクターを超えた横断的な仕事をしている人がいない。民間資本が主導してやっている現実に対して、本来は公共と市民とともに一体となってやるべきこと。俯瞰的なことをやっている都市計画はどこに。

宮台: ベアード・キャリコットの議論、スペースじゃなくてプレイス、場の生き物としての全体性が人間に尊厳を与える。つまりこれがリアルということ。俯瞰的全体的な発想によって、リアルなもの、我々にとってつまらなくない、置き換えは不可能な存在としてそこにある、これがわくわくするとき。まちとは何なのか、我々ワクワクさせる、我々を学ばせてくれる場であると。

野口: 安全・快適・便利ということを単純に求めることによって、私たちはいつでもどこに行っても交換可能な存在になってしまう。そうではないまちをどう作っていくか。

蓑原: 都市計画の原理として、第1にもっと俯瞰的に、第2にまちづくりの過程の中にどれだけ市民とか消費者がインボルブ・巻き込まれていくのかという、その過程をどう議論するか。



写真: 石川望

宮台: 日本は、原生自然が豊かなので、再帰的に自然を大切にしようという発想が、もともと生じたことがない。自然に対する構えも失われたものを計画的に再生しようとするだけだ。

蓑原: 近代化って何だったんだろうと。

宮台: 近代はローカルだって言ってすまない普遍性を持っている。それは安全・便利・快適つまり近道をしてより多くのゲインを得たいっていう我々のジェノミックな性質に働きかけるから、こんなに近代は早く広く広がった。

蓑原: ロマン主義と知性による科学主義の統合は大きな課題、その統の過程としてまちづくりが一番先端的な問題。

宮台: 我々は安全・便利・快適な法生活の枠の中にいるだけでは力を失う。生活世界は共同体的な生活を送っている人から見える世界。共同体の代わりシステムを頼ることで成り立っている生活形式の中で見えるものがシステム世界。安全・便利・快適を望むことで人間関係をコストだと思ってしまう、これが生活世界の植民地化。

蓑原: 生活世界に近いところでの何か、400m圏、15分圏が生活世界の基本だみたいな議論をもう一度立て直した中で、アーバニズムみたいなものを作っていくかなければ。

宮台: 人間関係がないと調達できない便益があれば、人は相互に陶冶される、このメカニズムが大事だからマイクロレベルである種の共同体自治を復活させることが大事。

蓑原: 都市計画を生活世界からもう一度立て直すという議論をしなれば。

宮台: 未規定なものにワクワクするっていう能力を取り戻せるか、未規定なものをノイズとして感じない、力の源泉として感じるようになるか。まさにアフォーダンス概念が象徴するカテゴリーを超えてフュージョンするという体験。

蓑原: まちっていうのはストリートがあって、そこに家並みがあって、その中にいろんな人がいてそういう構造があるんだけど、そういう構造が今、生活体験として持てない人が、コンビニで暮らしてる人たちが本当にまちがいいと思うのだろうか。

宮台: 体験デザインっていう概念がキーワード。教育もまちづくりも建築も映画作りも全部体験デザイン。ノイジーであるということ、それは多様性の本質。その中でワクワクの源泉として捉えるような体験の能力を実装すること。

蓑原: 我々はまちづくり論を議論するときに、どうやったら多様性の中で発生するノイズが、まちとしての雰囲気を作り出

すかということを考える。一般市街地の中では、そういうものを作ろうという動機が、今の日本の都市計画の中ではほとんど存在しない。哲学すらいらぬという考えがある。その問題に対して、どう考えたらいいの。しかも、特に若い人たちは、そういう生活経験がないから、ますます難しい。

野口: 正しいより好きを優先する、そして近代化を徹底的に使い尽くせ、あり得る資源を徹底的に使い尽くしていくということが今の段階で言えることではないかと。

蓑原: 近代化の資源を使い尽くすということの意味は、近代化を超えるということと合わせて考えないといけない。

宮台: 合理に思考することは全て AI に任せ、我々は合理的である事が免除とされる事でもっと不合理になれる、不条理に開かれるってことがあり得る。テックを我々を不条理にするために使うということができるようになるだろう。

野口: 都市というものが私たちに尊厳をもたらしてくれると、そのためには予測不可能性やカオスを刻印していくことが重要。そのためには私たちがもっと資源を使い尽くす。ただし、そのアルゴリズムに絡めとられてしまわないように、私たちは常に気をつけろと言うことですね。 (文責 渡会)

■津和野会議 2023 まち歩きの開催案内

津和野会議は、町内で働く大人、津和野にゆかりのある首都圏や他県の大人、津和野高校生とOBOGや教育関係者などが、一緒に企画して実施する国際地域会議で、今年で5回目を迎える3日間のプログラムです。

JSURP 広島支部は、津和野会議に企画協力しており、初日に行う町内新施設視察ツアー(まち歩き)を皆様にご案内します。

城下町のまち並みが残り「山陰の小京都」と言われる津和野は、近年、移住者も多く、古民家活用の宿やカフェが続々とオープンしています。古いまち並みを生かした民間によるエリアリノベーションを、担い手の話を聴きながらご覧いただける機会です。ぜひご参加ください。

開催概要

日時: 12月1日(金) 14:00~17:00(13:30~受付)

料金: 無料

集合場所: cafe & hostel TMC(津和野町後田口 60-23)

主催: 一般社団法人津和野まちとぶんか創造センター

協力: 認定 NPO 法人日本都市計画家協会広島支部 他

※終了後の 17 時~津和野会議 2023 の前夜祭ウェルカムカクテルがあります。2 日目以降のプログラムもご都合に応じてご参加ください。

申込(締切 11 月 24 日(金)18 時):

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSes1AW4s2_qThsM0QpCzAnNl3y5oIEVdEwwl_38PKzSevVHSg/viewform

津和野会議 2023 の詳細・2 日目以降のプログラム

<https://drive.google.com/file/d/1IUUhUr8hGFeikqt3WYIYHAD74mHlHbjUk/view?usp=sharing>

問合せ: 日本都市計画家協会広島支部

木村(090-2870-2852) skimura@jsurp.jp

■外国人と共に暮らし支え合う地域社会の形成事業報告会 ~支え合いを豊かさにつなげるまちづくり~

【開催概要】

日時: 2023 年 12 月 2 日(土) 13:00~17:00

開催形式: オンラインとリアルハイブリッド開催

会場: シティラボ東京(東京スクエアガーデン6階)

参加費: 無料(交流会に参加の方は 1000 円)

申込: Peatix よりお申込みください

<https://peatix.com/event/3762865/view>

【プログラム】

13:00 オープニング

13:15 各団体から報告

テーマ 1 相談・支援ニーズ探求系

テーマ 2 しくみづくり重点系

テーマ 3 活動拠点づくり重点系

15:30 意見交換

16:30 クロージング

17:00 交流会

【主催】

外国人と共に暮らし支え合う地域社会の形成事業共同体 認定 NPO 日本都市計画家協会(JSURP)、公益財団法人 公害地域再生センター(あおぞら財団)]

【協力】

一般財団法人日本民間公益活動連携機構(JANPIA)

■第 10 回女性とまちづくり研究会開催案内

第 10 回の女性とまちづくり研究会を 12 月 5 日(火)に開催します。今回は、イギリス在住の若い研究者の研究成果をお話しいただきます。ブラジルサンパウロの高校卒業後、筑波大学で都市環境行動学を学び、ロンドン大学で学際的なアーバンデザインという学科に所属、「女性の公共空間の利用実態と経験」を研究されたとのことです。

★開催概要

日時: 12 月 5 日(火)20:00~21:30(日本時間)

開催方法: オンライン

参加費: 無料

話題提供者: 劉(水上)瑛璃佳さん(University College London)

テーマ: 「女性の公共空間の利用実態と経験」の研究成果について

問合せ先: 三浦由理 miura1007@gmail.com

申し込み: <https://forms.gle/pbuVuzF1WSmflKdW6>

■2023 年度第 3 回 J's カフェの開催案内

第 3 回 J's カフェが 12 月 15 日(金)に開催されます。会場はシティラボ東京(東京スクエアガーデン6階)です。

江戸・東京の歴史に詳しい建築史家の陣内秀信法政大学名誉教授にご登壇いただくことになりました。

ぜひご参加ください。

【開催概要】

講師: 陣内秀信法政大学名誉教授

テーマ: まちづくりのテリトリー戦略

日時: 12 月 15 日(金)18 時~20 時

会費: 2,000 円(当日、1ドリンク付き)

会場: シティラボ東京(東京スクエアガーデン6階)

東京都中央区京橋 3 丁目 1-1

【案内人】認定 NPO 日本都市計画家協会 内山、楠亀

【問合せ】 kusukame@artep.co.jp

【申込み等】

QR コードまたは、

下記 URL から お申込みください。

<https://forms.office.com/r/bkYW8YKj9P>

